3つの方針について

学部名:工学部 学科:物理工学科

入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー)	工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。 ●自然、社会、文化等に対して幅広い関心をもち、それらの基礎学力を持った人。 ●工学を理解するために必要な数学、理科に興味をもち、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。 ●工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心をもち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。 ●工学における問題解決の実践に情熱をもち、社会に貢献しようという気概を持った人。
学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	1. 物理学、機械工学、電気電子工学、およびその融合領域(物理工学)の基礎となる数理リテラシーを修得している。[汎用的技能] 2. 物理工学に関する基本的な専門知識を修得している。[知識・理解] 3. 物理工学に関する諸問題や課題等について論理的に考え、その考えを説明することができる。[思考・判断] 4. 物理工学に関する知識を応用して、問題を発見・解決しようとする意欲を持っている。[関心・意欲・態度] 5. 技術英語およびそのプレゼンテーションの基礎的な知識と技術を修得し、これを実施することができる。[技能・表現]
教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	物理学や、機械工学・電気電子工学を基盤とした物理工学に精通し、社会に技術革新をもたらすことのできる高度な技術者・研究者を養成するためのカリキュラムを編成する。 1. 専門知識のみにとらわれない広い視野、多様な価値観を身につけた有為な人材を育成するための統合教育科目や外国語科目を設けるとともに、物理工学を学ぶために必要な数理リテラシー(数理的素養)を修得するための基礎教育科目を設ける。[汎用的技能] 2. 理学としての物理学と、工学の根幹である機械・電気電子工学を体系的に学ぶための専門教育科目を設ける。[知識・理解] 3. 物理学、機械工学、電気電子工学に関する知識に基づいて、直面する状況について考察し、解決すべき課題を認識し、取るべき手段を適切に判断する能力を養う科目を設ける。[思考・判断] 4. 社会における物理工学に係る事象に常に関心を払い、それを自ら課題として設定しようとする能力を養うための科目を設ける。[関心・意欲・態度] 5. 直面する課題を解決するために自らが取り組んだ内容を理路整然と纏める能力や、世界に情報を発信するためのコミュニケーション能力を養う科目を設ける。[技能・表現]